



## 地域政策デザイナー養成講座（九州大学セミナー） －政策提言発表記念シンポジウムを開催－

### 概要

九州の将来ビジョンをデザインする高度人材の育成と具体的な政策提言を目指して、平成 22 年 3 月から進めてきた地域政策デザイナー養成講座の全 20 回のカリキュラムの最終回として、記念シンポジウムを開催します（詳細は別添資料を参照願います）。

シンポジウムでは「九州の自立と成長戦略」を共通テーマに、これまで議論してきた成果として、10 の政策提言（別添リーフレットを参照願います）を内容とする提言書「魅力ある九州の実現のために」を発表し、プレゼンテーションを行うとともに、記念講演とパネルディスカッションを行います。

### 背景

九州大学は、九州経済連合会、九州地域産業活性化センター、九州経済調査協会、西日本新聞社とともに実行委員会を設立し、「地域政策デザイナー養成講座」を開設して、自治体職員、民間企業社員、企業経営者、各種の専門職、本学大学院生を対象に、各界有識者、実務担当者、大学関係者による講演会及び討論会を実施してきました。

これまでのプログラムは <http://www.kerc.or.jp/PlanQD/image/j-curriculum.pdf> を参照ください。

### 内容

記念シンポジウムで発表される政策提言は、「アジアの活力を九州にどう取り込むか」「誰にとっても便利に動けるまちをどうつくるか」という 2 つの課題に対して、観光、留学・研究、ビジネス、交通まちづくりなどの切り口から、広域連合や移動権などホットなテーマを交えながら、九州大学セミナーとして広く問題提起を行うものです。

（公表は 12 月 8 日午後 2 時です。）

- 日時 平成 22 年 12 月 8 日（水）14:00 から
- 会場 ホテル日航福岡 3 階 都久志の間
- プログラム
  - 第Ⅰ部 政策提言発表 14:00～15:10
  - 第Ⅱ部 記念講演 15:10～16:30  
宮本雄二 前中国特命全権大使
  - 第Ⅲ部 パネルディスカッション  
「アジアの活力と魅力ある九州」

記念シンポジウムでは、前中国特命全権大使宮本雄二氏による記念講演「中国といかに付き合うか」、また、宮本前大使のほか、石原 JR 九州会長、青木福岡県留学生サポートセンター長、安浦九州大学理事副学長によるパネルディスカッション「アジアの活力と魅力ある九州」を予定しています。

#### 【お問い合わせ】

産学連携センター教授 谷口 博文

電話：092-642-3967

FAX：092-642-3967

Mail：taniguchi.hirofumi.369@m.kyushu-u.ac.jp

## 第12回講演会のお知らせ

# 2010年度地域政策デザイナー養成講座

(九州大学セミナー)

日 時 2010年 12月8日(水)

午後2時開演

プログラム 第Ⅰ部 政策提言発表 14:00～15:10

第Ⅱ部 記念講演 15:10～16:30

「中国といかに付き合うか」  
宮本雄二 前中国特命全権大使

プロフィール:

1969年 京都大学法学部卒業・外務省入省

1990年 アジア局中国課長

2002年 在ミャンマー連邦日本国大使

2006年 在中華人民共和国日本国大使館  
特命全権大使

(休憩)

第Ⅲ部 パネルディスカッション 16:40～18:00  
「アジアの活力と魅力ある九州」

青木麗子 福岡県留学生サポートセンター長 / 石原進 九州旅客鉄道(株)会長

宮本雄二 前中国特命全権大使 / 安浦寛人 九州大学理事・副学長

谷口博文 コーディネーター 九州大学産学連携センター教授

会 場 ホテル日航福岡 3F 都久志の間

福岡県福岡市博多区博多駅前2-18-25 TEL:092-482-1111

URL:<http://www.hotelnikko-fukuoka.com/access/>

※事前申し込み不要で、どなたでも無料でご参加頂けます。(定員 250名)

主 催:九州大学、九州経済連合会、九州地域産業活性化センター  
九州経済調査協会、西日本新聞社

事務局:(財)九州経済調査協会 調査研究部(担当:厚石、案浦、田代)

〒810-0041 福岡市中央区大名1-9-48

TEL:092(721)4905 FAX:092(722)6205 URL:[PlanQD@kerc.or.jp](mailto:PlanQD@kerc.or.jp)

## 活力ある日本を取り戻すカギは、 地域が握っている――

地域がそれぞれの特性を活かして切磋琢磨することで、日本は再び世界を引き付ける魅力を持つ。そのためには、地域自らが、そのビジョン・政策をデザインすることが不可欠である。

私たちは、魅力ある九州の実現のため、「アジアの活力を取り込むにはどうするか」「誰にとっても便利に動けるまちをどうつくるか」に焦点をあて、「九州の自立と成長戦略」を提言する。

2010年度 地域政策デザイナー養成講座（九州大学セミナー）  
受講生

有隅基樹、有吉孝純、李 受珍、池田昌太、石丸修平、上田広記、上野孝太郎、大坪恵太郎、大村琢磨、櫛間嘉徳、小嶋寿見子、定村慎太郎、重松一俊、鶴崎泰将、中村義治、林 謙一、廣渡佳衡、福田幸代、藤田耕輔、藤吉万里、松尾彩佳、松岡由樹、松崎真典、見村和嗣、村山由香里、諸永隆晃、矢野勝久、吉田俊之、和田克之、渡辺大輔、渡辺満生 （31名）

地域政策デザイナー養成講座（九州大学セミナー） 講演者一覧

講座名（開催日）	講演者のみ掲載
セミナー1 (3/29、4/12)	・オリエンテーション
第1回講演会 (4/2)	「グローバル経済の変容と求められる人材」 チャールズ・D・レイクII アフラック日本における代表者・会長
第2回講演会 (4/19)	「日本経済と地域のグローバル戦略」 中川勝弘 国際経済研究所 代表取締役理事（前トヨタ自動車副会長）
第3回講演会 (5/10)	「九州の地域経営と人材育成」 石原 進 九州旅客鉄道 代表取締役会長
セミナー2 (5/17)	「街を元気にする都市交通のあり方」 小林成基 NPO 自転車活用推進研究会 理事長兼事務局長
第4回講演会 (5/24)	「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」 森 雅志 富山市長
第5回講演会 (6/7)	「九州地域の活性化に向けて」 橋高公久 経済産業省九州経済産業局長
第6回講演会 (6/21)	「地域主権国家形成における地域政策デザインの可能性」 モンテ・カセム 学校法人立命館 副総長（前立命館アジア太平洋大学 学長）
第7回講演会 (7/5)	「地域活性化政策の系譜と今後の動向」 和泉洋人 内閣官房地域活性化統合事務局 局長、慶應義塾大学教授
第8回講演会 (7/19)	「アジアに存在する日本―日本の国際貢献：難民」 志野光子 外務省総合外交政策局 人権人道課長
第9回講演会 (8/2)	「道路使用と駐車―道路交通法の考え方」 末井誠史 国立国会図書館 調査及び立法考査局 行政法務調査室主任 専門調査員（前警察庁交通局長）
セミナー3 (8/21)	・留学生へのヒアリング、報告書の骨子決定
第10回講演会(8/30)	「『道州制の九州モデル』を考える」 矢田俊文 北九州市立大学 学長
セミナー4 (9/13)	「国際観光（インバウンド）を取り巻く状況と取組み」 市川政文 九州運輸局 企画観光部計画調整官（国際観光担当） 「公共交通の活性化・再生について」 城 麻実 九州運輸局 企画観光部交通企画課長
セミナー5 (9/25)	「九州アジア観光戦略特区について」 田代雅彦 九州経済調査協会 調査研究部長
セミナー6 (10/4)	・報告書案等編集作業
セミナー7 (10/16)	・専門有識者へのプレゼンテーション及びディスカッション 中山良一 九州・アジアビジネス連携協議会 代表理事 国吉澄夫 同協議会 理事・事務局長（元九州大学教授） 辰巳 浩 福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
第11回講演会(11/6)	「それでも世界は動く」 村尾信尚 日本テレビ NEWS ZERO メーンキャスター
セミナー8 (11/22)	・専門有識者へのプレゼンテーション及びディスカッション、最終取りまとめ 村藤 功 九州大学経済学研究院 教授
第12回講演会(12/8)	「中国といかに付き合うか」 宮本雄二 前中国特命全権大使

### ●主催

国立大学法人九州大学、社団法人九州経済連合会、財団法人九州地域産業活性化センター、財団法人九州経済調査協会、株式会社西日本新聞社

### ●事務局

地域政策デザイナー養成講座（九州大学セミナー）事務局

〒810-0041 福岡市中央区大名 1-9-48（九州経済調査協会内）Tel:092-721-4905 Fax:092-722-6205  
事務局長 谷口博文（国立大学法人九州大学 産学連携センター教授）

2010年度 地域政策デザイナー養成講座 提言  
（九州大学セミナー）

# 九州の自立と成長戦略

～魅力ある九州の実現のために～

## 現状と課題

アジアの活力を九州に取り込むにはどうするか

- ◆通訳ガイドの仕事ができない。
- ◆ビザが取りにくい。在留資格の職種制限が就職に支障となっている。

- ◆観光客のニーズについてマーケティングリサーチが弱く対応も遅い。
- ◆地域の観光資源をコーディネートできる人材が少ない。

留学生や研究者などの受入れ側の支援が不十分で、在留手続き、入試、住宅、アルバイト、生活資金、社会保障、地域活動等様々な場面で問題。

研究教育環境やキャリアパスについて外国人留学生・研究者への情報発信力が不足している。

各県に配慮したPRとなっているため、逆に九州の「売り」が何なのか、はっきりしない。

◆外国人にとって町の案内がわからない。

◆日本人でもどこで何に乗れば行きたいところに行けるのかわかりにくい。

◆交通事業者が違うと乗り継ぎが不便。

◆結節点の乗換施設が不十分。雨に濡れる。

◆乗り換えるたびに初乗り料金がかかり割高。

◆運賃収入で賄えない路線は、公共交通機関の撤退が相次ぐ。

◆子供や高齢者、車が運転できない人の移動が確保できない。

誰にとっても便利に動けるまちをどうつくるか

◆バスは渋滞に巻き込まれ、定時性が保たれず時間がかかる。

◆生活の足として使いにくい。

◆利用者の立場から地域の実情に合った総合的・横断的な交通体系を作る責任が不明確。

◆規制が地域の実情にあっていない。

## 魅力ある九州の実現のために —10の提言—

アジアの人々が「行きたい、学びたい、住みたい」と思える九州

観光 留学・学術研究 ビジネス

### 九州アジア総合特区

- ◆「通訳案内士」制度の規制緩和・「在留資格における職種制限」の緩和等。

### 観光専門職大学院（観光MBA）

- ◆観光業のリーダーを目指す人材を集め、「アジアNo.1観光教育機関」を目指す。

### 九州新広域連合へ発展

- （観光行政の一元化）
- ◆各自治体の権限・組織を吸収、九州一体で推進。（国の権限の受け皿）
- ◆税関・出入国管理・検疫の実務、通訳案内士制度、ビザ（査証）発行等の権限移譲。（意思決定の迅速化）
- ◆連合長・議員は公選
- ◆広域連合の独自財源を確保

### 九州国際サポートセンター

- （ワンストップ窓口）
- ◆外国人の受入や定着、企業の進出を一元的に支援。企業や大学と連携。

### 九州立大学

- ◆九州の10国立・9公立大学の強みを持ち寄り、ブランド化。私立大学や国、民間研究機関とも連携。

「利用者目線の公共交通ネットワーク」で魅力あるまちへ

わかりやすい・早くて安い・シームレス

\*シームレス：利用者が複数のサービスを違和感なく統合して利用できること

### 絵図面による表示 パブリックデザインの統一

- ◆グローバルな九州の一步。世界基準に統一されたサインを導入し、まちをわかりやすくする。

### 継目のない交通網 シームレス・ネットワーク

- ◆乗換えがスムーズ。雨にも濡れず、どの交通手段を使っても乗換え料金がかからない

### 九州新広域連合（交通部門）へ展開

- ◆地域公共交通に関する国の許認可権限を移譲。地域の実情に応じた交通事業の展開が可能となる。

### バス・ラピッド・トランジット（BRT）

- ◆道路中央の専用レーンを電車の代わりにバスが走る。

### 地域交通計画会議

- ◆交通事業者、自治体、利用者代表が参加し、利用者目線で地域の実情にあった総合交通体系を構築する。

### 総合交通財源

- ◆旧道路特定財源、公共交通の受益者（乗降客以外）などから広く負担を求め、移動権を確保する財源とする。

## 九州の自立に向けて

## 魅力ある九州



ピクトグラムの例

### セカンドステップ

- ・九州新広域連合（観光・交通）
- ・観光専門職大学院（観光MBA）
- ・九州立大学の創立
- ・地域交通計画会議の設置
- ・総合交通財源の確保

### ファーストステップ

- ・九州アジア総合特区
- ・九州国際サポートセンターの設置
- ・ピクトグラムによる表示に統一
- ・シームレス・ネットワークの構築
- ・BRTの導入

### 現状

- ・九州地域戦略会議
- ・九州観光推進機構
- ・九州アジア観光推進特区（申請中）
- ・地域公共交通の協議会
- ・ICカードの相互利用
- ・文字による案内表示



BRT導入の例（ブラジル、クリチバ市）